

九州国際大学研究者情報

基本情報

所属	法学部 法律学科	氏名	藤野 博行 FUJINO Hiroyuki
職名	准教授	E-mail	
		ホームページ	

■ 学歴・取得学位

2002(平成14)年3月	島根大学法文学部法学科卒業 学士(法律学)
2005(平成17)年3月	九州国際大学大学院法学研究科修士課程修了 修士(法律学)
2008(平成20)年3月	久留米大学大学院法務研究科法務専攻修了 法務博士(専門職)

■ 主な職歴

2011(平成23)年1月	九州国際大学法学部就業力コーディネーター
2011(平成23)年4月	徳山工業高等専門学校非常勤講師 (法学担当、2012年3月まで)
2011(平成23)年4月	三萩野女子高等学校看護専攻科非常勤講師 (関係法規担当、2018年3月まで)
2012(平成24)年4月	九州国際大学法学部客員助教
2013(平成25)年4月	九州国際大学法学部特任助教
2014(平成26)年4月	九州国際大学法学部専任助教
2014(平成26)年4月	北九州市立大学法学部非常勤講師 (物権法および担保物権法担当、2015年3月まで)
2016(平成28)年9月	北九州市立大学地域創生学群非常勤講師 (民法概論Ⅱ担当、2017年3月まで)
2016(平成28)年9月	純真高等学校看護専攻科非常勤講師 (関係法規担当、2018年3月まで)
2022(令和4)年4月	九州国際大学法学部准教授(現在に至る)

教育活動

■ 主な担当授業科目

- 学部：物権法、担保物権法、入門セミナー1・2、専門演習A、地域課題研究、社会実習、アカデミックスキル(思考・表現)他。
- 大学院：なし。

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンダード民法Ⅰ『民法総則』嵯峨野書院（2015年5月、共著）。 ・スタンダード民法Ⅳ『債権各論』嵯峨野書院（2016年6月、共著）。 ・スタンダード民法Ⅱ『物権・担保物権法』嵯峨野書院（2019年7月、共著）。
○ 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・Adventure programming workshop (Project Adventure Japan) 修了（2012年10月） Project Adventureとは、ファシリテータから与えられた課題をグループで解決し、その時の状況についての内省や自己開示を通して、個人やグループの成長を促すことを目的とする、アメリカ発祥のアクティブ・ラーニングプログラムである。本ワークショップは、プログラムのファシリテーターを目指すための講習である。 ・安全・安心リーフレットの作成（地域課題研究、2018年4月） 北九州市役所市民文化スポーツ局と共同で、北九州市が安全な街であることを周知するためのリーフレット「北九州にキタ！そんな君に知ってほしい」を作成。本リーフレットは北九州市内の大学・短大に入学する約3000名に配布された。 ・商店街でのイベント開催（専門演習Aおよび地域課題研究、2019年～現在） 黒崎カムズ一番街において子ども向けのイベント（お化け屋敷、段ボール迷路等）を開催。特に専門演習Aでは、イベント来場者の保護者から商店街活性化に関するアンケートを取り、その分析・考察結果をゼミ対抗プレゼンテーション大会にて発表。 ・高等教育における総合的学修支援者育成プログラム（大正大学）修了（2021年12月） 現在、我が国の高等教育においては、学生一人ひとりが自律した学修者として学びと成長を深めるための、総合的な学修支援が求められている。本プログラムは、高等教育をはじめ学修支援の基本的な知識と技能を習得し、高等教育の変革に寄与できる人材の育成を目指すものである。
○ 免許・資格	行政書士、宅地建物取引主任者、2級ファイナンシャル・プランニング技能士

研究活動

■ 研究分野

研究分野	民法（財産法全般）、初年次教育
主な研究テーマ	特に寺院墓地・霊園墓地における墓地使用契約の解除。高大接続を見据えた探究学習の教材開発。
キーワード	墓地使用権、墓地所有権、探究学習、高大接続

■ 主な著書・論文等

著書	なし。
論文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「大学入学における学納金の性質について」（単著）九州国際大学『法政論集』第8巻1頁～20頁（2006年）。 ○ 「学納金返還請求訴訟の再検討」（単著）九州国際大学法学会『法学論集』18巻1・2号合併号133頁～152頁（2012年）。 ○ 「物上代位の本質に関する一考察」（単著）九州国際大学法学会『法学論集』19巻1・2号合併号147頁～167頁（2012年）。 ○ 「思考力や協働力を涵養する法学教育について（1）」（単著）九州国際大学法学会『法学論集』23巻1・2・3号合併号107頁～126頁（2017年）。 ○ 「高大接続の実現に向けた授業プログラムと評価」（共著）九州国際大学社会文化研究所『社会文化研究所紀要』79号53頁～66頁（2018年）。

- 「高大接続を意識した高大連携の取り組みの成果と課題」(単著)九州国際大学社会文化研究所『社会文化研究所紀要』80号57頁～76頁(2019年)。
- 「『総合的な探究の時間』の教材開発に関する実践研究」(共著)九州国際大学社会文化研究所『社会文化研究所紀要』81号35頁～52頁(2020年)。
- 「法律上の墳墓の構成要素について～墓地埋葬法および民法の比較を通して～」(単著)九州国際大学法学会『法学論集』26巻1・2・3号合併号1頁～20頁(2020年)。
- 「墓地使用契約の解除における信頼関係の破壊」(単著)九州国際大学法学会『法学論集』27巻1・2号合併号1頁～20頁(2021年)。
- 「寺院墓地使用権の解除に関する覚書—東京地裁平成28年9月21日判決を中心として—」(単著)九州国際大学法学会『法学論集』28巻1・2号合併号(2022年)。

学会発表

- 体験型学習等による評価と振り返り-ループリックによる自己評価の妥当性・信頼性を確保するために(初年次教育学会・2014年)。
- ワークショップ「初年次教育の質を高める教員協働を考える」事例報告(初年次教育学会・2014年)。
- 多様な評価の組み合わせによるジェネリックスキルの評価と学生の成長の可視化(大学教育学会・2015年)。
- 大学間連携・学生連携によるジェネリックスキル育成と課題解決型インターンシップの連続的教育プログラム開発(大学教育学会・2015年)。
- 法学部専門基礎科目の設計と授業の共同運営について(大学教育学会・2016年)。
- 初年次ゼミを支えるSA(スチューデント・アシスタント)育成とその教育力(初年次教育学会・2016年)。
- キャリア教育におけるリフレクションの機能(初年次教育学会・2016年)。
- 学力の3要素を涵養する高大連携の試み(初年次教育学会・2017年)。
- 新入生の宿泊研修を運営するSAのトレーニングとその課題(初年次教育学会・2018年)。
- 高大接続を見据えて考える思考・表現力の育成と評価(初年次教育学会・2020年)。

その他

- 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」九州・沖縄・山口地域大学グループ 学修評価グループ報告書(2014年3月)。

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

--	--

■ 主な所属学会

- 日本私法学会(2013年10月～現在)
- 初年次教育学会(2015年3月～現在)

■ 受賞等

--	--

■ 研究助成金による研究

- 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 課題番号:2659020,平成26年～28年度,ジェネリックスキル育成における汎用的学習評価プログラムの構築と実践的研究(研究分担者)。

社会における活動等

- 独立行政法人国立青少年教育振興機構 研修指導員(2013年4月～現在)
- 福岡県教育委員会北九州高等学校学校関係者評価委員(2016年4月～2019年3月)
- 福岡県立北九州高等学校 評議員(2016年4月～2019年3月)

大学運営活動等

- 広報委員 (2013年10月～2020年3月、2021年4月～現在 (2016年4月～2020年3月まで学部代表委員))
- 地域連携センター運営委員 (2017年4月～2020年3月)
- 法学部 PASS 委員 (1年ゼミ主任、2018年4月～2019年3月)
- 法学部 PASS 委員 (3・4年ゼミ主任、2020年4月～2022年3月)
- 就職対策委員 (2020年4月～2022年3月)
- 法学会編集委員長 (2020年4月～2022年3月)

掲載方法

2. 修学上の情報等	
(1) 教員組織、各教員が有する 学位及び業績	法学部教員一覧
	経済学教員一覧
	国際関係学部教員一覧
	法学研究科教員一覧
	企業政策研究科教員一覧
	客員教員一覧